



きこえとことばの教室便り

佐世保市立清水小学校 きこえとことばの教室 No. 6

第4号のお便りでは、「家庭でのことばかけ」をテーマに、発音について普段の生活で気をつけることをお知らせしました。まずは、「違った発音でも、たくさんお話できる雰囲気をつくり、正しい発音を聞かせてください。」とお願いしました。今回は、正しい発音を育むために、食生活の中で気をつけてほしいことがありますので紹介します。

「B, C, S, S」で発音の基礎を作る～その①～ (噛む)

発音する口は、食べたり飲んだりすることにも使われています。その運動が十分でないと発音もなかなかうまくできないことがあります。この「飲んだり食べたり」のことを「B. C. S. S」と表します。くわしく説明しますと「B. C. S. S」とは、B:ブローイング(吹く)、C:チューイング(噛む)、S:サッキング(吸う)、S:スワローイング(飲み込む)の略です。発音が不明瞭な場合、私たちはその背景として「B. C. S. S」の関係性を考えます。発音にとって「B. C. S. S」はとても大切な要因の一つなのです。

今回はその中の「噛む」ことについてです。ゆっくりとよく噛むことによって、あごや歯ぐきが鍛えられてじょうぶになります。結果、明瞭な発音になることにも有効です。噛む回数を意識的に増やしてみましよう。

